

## 嘉永堰・昭和堰について

### ○概要

西山山系にある平沢川は、勸進代地区の重要な水源のひとつだが、度々旱(ひでり)に見舞われた。嘉永堰は、鍋割沢から水を引き、平沢川の水量を増やすために嘉永6年(1853)の大干ばつを契機に米沢藩によって開削された。当時は勸進代中南部200町歩の水田を潤した。延長約0.7km。

昭和7年には、稲作の湿田から乾田化としての暗渠排水工事による水不足に対応するために、鍋割沢の奥にある御秘蔵沢と嘉永堰をつなぐための延長工事が実施された。金田紋右エ門を代表とする地元民による共同事業として、県補助を受けて実施された。この延長部分を昭和堰という。延長約1.7km。

現在は水路としての役割を終え、水が一部に溜まっているのみである。地元有志(西山の史跡を見守る会)により周辺刈り払いが行われており、今もその姿をかろうじて残している。

### ○これまでの経緯

平成28年に議会にて、嘉永堰・昭和堰の調査を求める旨の質問を受け、同年10月現地踏査を教育委員会職員で実施。文化財調査会委員の青木慶一委員も同行。調査内容については平成28年度第2回文化財調査会にて報告。その後も西根地区出身の議員等を通して嘉永堰・昭和堰を市指定文化財に指定する旨の要望の声があった。

### ○位置 別図参照(国有林内)

### ○周辺環境

葉山登山道と交わっており、堰沿いを歩くことができるが登山者数が少ないため、やや陰しく迷いやすい。登山道と交わる箇所には標識が設置してある。

### ○資料

- ・「嘉永堰の日記」 1856年(安政3年)ころ 著：金田銀右衛門  
勸進代村の金田銀右衛門がまとめた工事記録。開削工事当事者により書かれた資料であるが、原本は失われており写本が残るのみである。内容については長井市史(昭和版)にまとめられている。また、「西根の歴史と伝承」(1979年)に全文の翻刻が掲載されている。
- ・「葉山山上に子孫を想う情念の山地農業用水堰を訪ねて」2005年 著：小岩清水  
専修大学附属高等学校地理学教諭(当時)である小岩清水氏が、2005年に「葉っぱ塾」「葉山の自然を守る会」「昭和堰を見る会(現：西山の史跡を見守る会)」とともに行った現地踏査の報告書。同書にて嘉永堰・昭和堰の構造・機能等の分析を行っている。2つの堰にみられる水量管理の工夫等を評価し、特に昭和堰については「現実的に昭和堰の実体とは、(中略)標高1200mの山地に、延長1700mにおよぶ日本で他に類をみない山堰を、浸食や側壁崩壊から守っていかうとする配慮が、至る所に認められる事で理解できるのである。」と述べている。

## ○指定すべき理由等

嘉永堰は、嘉永年間の渇水対策として、嘉永6年に開削された。勸進代地区の田畑の主水源となる平沢川の水流を増やすために、山中の鍋割沢の水を平沢川に導水したものである。開削工事の経緯は「嘉永堰の日記」に詳細に記されており、史料的价值は高い。「嘉永堰の日記」は原本が失われ写本が残るのみであるが、嘉永堰は一部が現存しており、当時の農業用水確保の地域住民の姿を捉えるうえで貴重な史跡であると判断される。

また、昭和7年に開削された昭和堰は、昭和初期の水田改良に伴う農業用水の需要増加を受け、嘉永堰の堰巾の拡幅および、嘉永堰の水源である鍋割沢からさらに奥にある御秘蔵沢まで堰を延長したものである。新たに開削した堰とそれまで嘉永堰と呼ばれた堰も含め、「昭和堰」と名を改め運用された。

昭和堰は、当時の水準としては優れた土木技術が用いられており、また嘉永堰が開削された79年後に、当時も運用されていた嘉永堰を改良し、農業用水を新たに確保したという歴史を今に伝える貴重な史跡であると判断される。

## ○管理について

嘉永堰・昭和堰は国有林に位置しており、所有者である国(林野庁置賜森林管理署)と長井市史跡とすることに同意をしてもらう手続きを進めているところである。

指定文化財の管理については、原則所有者が行うことと長井市文化財保護条例で定まっているが、すでに堰としての機能を終えた堰跡を国が管理するということはないため、今までとおり地元有志団体(西山の史跡を見守る会)による周辺刈り払い等の管理を行う必要があり、これについては同会と調整済である。

## ○今後の指定までの流れ

令和3年2月26日 長井市教育委員会から文化財調査会へ史跡指定について諮問。

令和3年3月中 委員の任期中に、文化財調査会より答申をいただく。

令和3年5月以降 所有者である国からの同意を得たうえで、市長部局にて史跡指定する。

(現地写真)

●嘉永堰

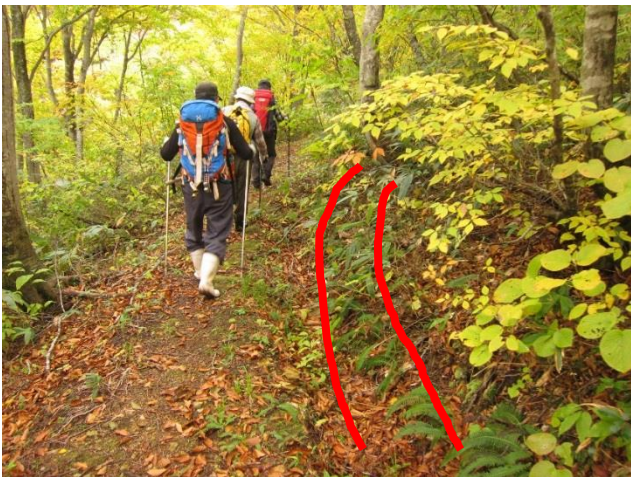


一部は水流が確認できた



一部は1m以上の深さがある

●昭和堰



わずかに堰跡を確認



コンクリート製の構造物が残存



御秘蔵沢取水口

取水口のコンクリートブロックには「〇〇記念」と文字が掘ってあった。